

J:ba

Vol.37

Libre | リブレ

編集・発行

NPO法人日本バリアフリー協会／政策研究所

Japan Barrier-free Association

【事務局】〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16-801

TEL:03-5215-1485 FAX:03-5215-1735 E-MAIL:info@npjba.org

URL:http://www.npojba.org

Contents

目次

- 1・2 …… 代表コラム
- 3・4 …… GC13 出場者紹介
- 5 …… 応募状況
- 6 …… 特別ゲスト紹介
- 7 …… ゲスト・審査員・司会者紹介
- 8 …… 第13回ゴールドコンサート地方大会について
第13回ゴールドコンサート地方大会 in 福岡報告
- 9 …… 第13回ゴールドコンサート地方大会 in 沖縄報告
第13回ゴールドコンサート地方大会 in 仙台報告
- 10 …… 第13回ゴールドコンサート地方大会 in 関西報告
- 11 …… 日韓障がい者音楽コンテスト 相互出場と交流報告
- 12 …… 東京バリアフリーチェック報告
- 13 …… 第13回ゴールドコンサート協力者の皆様
NPO 活動報告
- 14 …… 第12回ゴールドコンサート協力者の皆様
平成27年度競輪補助事業完了のお知らせ
- 15 …… ボランティアスタッフ募集のお知らせ
- 16 …… 第13回ゴールドコンサート開催概要

代表コラム 原点と開花

英語が新たに開花



第13回ゴールドコンサート地方大会 in 関西にて
英語で舞台挨拶 司会の斎藤日登美さんと共に

ので、指示はすべて英語で出しています。これは、2000年の帰国以来16年ぶりのことです。

そして、5月の後半には約120名のカリフォルニア大学バークレイ校のマーチングバンド(CALバンド)の学生さんが来日され、「第13回ゴールドコンサート地方大会 in 関西」のゲスト出演してもらいました。また、同じ日に関西学院大学のアメフトの試合のハーフタイムショーにも出演してもらいました。彼らとはパーティーやディナーを共にしました。

バークレイ市での7年間の生活で得た、英語力を帰国後はあまり役立てることがなかったのですが、ここにきて急に花開いてきたような気がします。

最近、映画やニュースの英語がアメリカに住んでいた頃よりも、耳に飛び込んでくるようになりました。不思議なものです。

今年に入って、英語を使う機会がとても多くなりました。

2月には、インドの視覚障がいをもつミュージシャン2名(プラス付添2名)に「第13回ゴールドコンサート地方大会 in 福岡」に出演してもらいました。当日はもちろん、前後の日も案内しましたが、その時は英語でした。

4月には、デンマークから来られた車いすの方7名程を含んだ約40名の学生さんたちと、都内のバリアフリーチェックを行いました。その時も英語を使用しました。

5月から、私自身の日常生活のパーソナルアシスタントとしてフィリピンの方を2名採用しました。日本語学校の学生さんですが、まだ来日したばかりな



第13回ゴールドコンサート地方大会 in 関西の懇親会にて(A&Hホール)
CALバンドのメンバーと共に

※本会報誌においては敬称を省略させていただきます。



第13回ゴールドコンサート
地方大会in関西にて

CALバンドの
特別ゲスト出演



エキスポフラッシュフィールドにてCALバンドとともに
(アメフト関西学院大学と関西大学の試合のハーフタイムショー)

国際化、特に草の根の国際交流は、私たちの活動にとって重要だと感じています。私たちはまだまだ海外から学ぶこともありますし、逆に教えたり啓発したりすることもあります。

バークレイが活動の原点

実は、私が初めて音楽イベントのプロデュースに関わったのは、カリフォルニア大学バークレイ校の大学院に通っていた時です。日本から「花」という曲で有名な喜納昌吉さんの渡米に合わせて、反戦運動の聖地として知られるキャンパス内で世界平和を目指すイベントを開催しました。

バークレイはまた、私が自立生活を初めてした場所で、そういう意味でも原点です。日本の障がい者の多くが自立生活について学びに来るメッカともいえる所でもあります。

原点であるバークレイからマーチングバンドが来日し、自分の主催するイベントに特別ゲスト出演したことは、その素晴らしい演奏と相まって感慨深いものがありました。さらに、多くを学んだ母校、関西学院大学のアメフトの試合のオープニング、およびハーフタイムショーに出演し、関西学院大学の吹奏楽部と合同演奏をしたことも、心に残っています。

もう一度、思いを原点に戻し自分に与えられた仕事に精進しなければならないと身が引き締まる思いです。

地方での活動も開花

英語の使用や国際交流もそうですが、今年に入ってから地方に行く機会も急に増えてきました。福岡、沖縄、仙台、大阪の順で第13回ゴールドコンサート地方大会を開催しました。その他大阪は一度下見に行き、福島では講演をさせていただきました。

毎年1回開催のゴールドコンサートは10周年の後、地方にもすそ野を広げる方針で活動してきました。



CALバンド指揮者ロバート・カロニコ博士とご挨拶

今回は、大阪で3回(年)目、福岡、沖縄、仙台は初の開催でした。

地方の障がいをもつミュージシャンは、発表の機会が特に限られています。また、音楽関係者に審査、講評をしてもらう機会はほとんどありません。

そのような中、応募される皆さんはとても真剣に演奏されます。また、平均で20組くらいの応募があり、お客さんは沖縄で最多で200名近く入り、予想以上の盛り上がりを見せました。関係者を含めた動員は、4か所合計で約900名でした。

今後も開催地を増やし、少しでも多くの障がいをもつミュージシャンに発表の機会を提供し、同時に才能を発掘したいと思います。

代表理事 貝谷 嘉洋



東京バリアフリーチェック報告会

GC13 出場者紹介

出場者名 **YABKING** ヒューマンビートボックス

曲名：Human
障がい：肢体 地域：福岡県
出場者 PR ▶ 22歳の時CMで見た「HUMAN BEAT BOX」に衝撃をうけ、独学で始める。地元、北九州を中心にLIVE活動をするようになり、数々のメディアに取り上げられる。ノンジャンルな楽曲で、熱いLIVEを繰り広げる。

出場者名 **笙 YUU** 笙ほか

曲名：風海る
障がい：知的・内部 地域：宮城県
出場者 PR ▶ 13歳で笙を手にして18年。県内を中心に北海道から沖縄、アメリカと国内外を問わず現在まで500回以上にのぼる演奏・講演活動を行っている。2万人に一人の発症と言われる難病、ウィリアムズ症候群(心臓機能・知的)を抱えつつ、笙奏者への道を歩んでいる。雅楽の笙を独学で主旋律と伴奏を同時に奏する奏法を確立し、楽譜は耳で音を拾い笙に置き換えて主に雅楽、クラシック・ポピュラー・ジャズとジャンルを越え演奏。宮内庁楽師の松井北斗氏に師事し、古典雅楽の神髄をゼロから6年学習の最中である。「心あたたかくなる笙の音を世界へ」との念いを胸に世界の平安を願いながら今日も笙を手に行っている。これまでオリジナルCDを5枚発表。

出場者名 **Constant Glowth** ボーカルほか

曲名：さくらはまだか
障がい：肢体 地域：沖縄県
出場者 PR ▶ 2013年3月結成のロックバンド。メンバーはVo. 勇武(イサム)、AGt.SUKE(スケ)、Ba. 春菜(ハルナ)、Dr. 利奈(リナ)、Key. 華子(ハナコ)、EGt. 茂徳(シゲノリ)の計6名。
ボーカル勇武は生まれながらの難病「脊髄性筋萎縮症」。全身の筋肉が徐々に衰え、最終的に息をする筋肉さえ奪われると言われる進行性の難病。車イスに乗りながら積極的にライブ活動をこなしています。
ConstantGlowthはすべての枠を越え、音と想いを伝えていきます。

出場者名 **DY** キーボード・ボーカルほか

曲名：perfectman
障がい：視覚 地域：大分県
出場者 PR ▶ 幼い頃から好きだった音楽を、17歳の両目失明後に出会ったある曲をきっかけに「自分でも作ってみたい」と思うようになり、独学でシンセサイザーとシーケンサーを使った曲作りを始める。
現在は主にインターネット上のサイトに曲を公開、発表しており、その他ネットラジオへのBGM提供などを行っている。また自身でもネットラジオのパーソナリティーをこなす。2016年3月からは自身の楽曲をiTunes、AMAZON mp3などからデジタル配信という形で発表。ジャンルにとらわれず自由に思うままの作曲スタイルで挑戦を続ける全盲ミュージシャン。

出場者名 **ダブル M** ギター・ボーカル

曲名：ほんとうのたからもの
障がい：視覚 地域：群馬県
出場者 PR ▶ 2009年の第6回大会で審査員特別賞を受賞した私たちが、レベルアップした演奏を披露します。アコギ1本+ボーカルというシンプルなアレンジで演奏します。7年前よりも更に上を目指したい。審査員特別賞以上の結果を出したい。そう思って、二人で話し合い、応募することにしました。

出場者名 **太田 将誉** まさたか ピアノ

曲名：儂い夢
障がい：知的・発達 地域：東京都
出場者 PR ▶ 知的障がいを伴う自閉症スペクトラム障がいのため、コミュニケーションが困難で幼少期からいじめ、孤独と闘ってきた。想いを言葉で表現するのは苦手だが、唯一ピアノで語り表現することができた。4才より音楽教室でピアノを習い始め、即興演奏を得意とし、多くの作品を作り続けてきた。音楽家を目指し、岡山から東京に移り住み専門学校に通うかたわらコンクールにも挑戦、ピアノパラリンピックウィーン大会で銅メダル受賞するもパニック障がいで長期入院、自己療養の後2015年同コンクールアジア大会にて国内で金賞、アジアで銅賞を受賞、また昨年12回ゴールドコンサートでは湯川れい子賞を受賞。これからも支えて下さったたくさんの方々に感謝の思いを込め、様々な曲を作ります。

GC13 出場者紹介

出場者名 **渡邊 千優** ちひろ ピアノ・ボーカル

曲名：イマジジ

障がい：視覚

地域：東京都

出場者 PR ▶ 2004年4月10日生まれ、小学6年生。
1歳の時に行った野外ライブで聞いたBank Bandのトウジを、気が付くとキーボードで弾いていたのが初めての曲でした。4才でピアノを始め、2013年ヘレンケラー記念音楽コンクール ピアノ 低学年の部 1位。

出場者名 **宮島 悟** ボーカルほか

曲名：07いて・・・

障がい：精神

地域：東京都

出場者 PR ▶ 双極性障害及び自閉症スペクトラムの精神障害で東京都の精神障害者手帳3級取得。実家の新潟での10代の壮絶なイジメ・校内暴力及び親や周囲の無理解、誤解に苦しみ高校中退、引きこもり生活を3年経験。独学で大検を取得。大学への進学を志したが、引きこもり時代に音楽制作に目覚め、上京後はバイト、音楽学校、通信制大学、バンド活動に邁進する。しかしバンド内でのトラブルが数度に渡って続き、ひどい鬱状態に陥り、30代の殆どを生きているだけの状態で過ごす。40代、勤めていたデザイン関係をリストラされたのを機に奮起。コンピューターを駆使した楽曲制作で某レコード会社から声をかけてもらう。昨年14年振りにライブ活動も再開。

その他、韓国で行われる障がい者の音楽コンテスト「2016 The Sound Festival」の選抜者が出場します。

出場者名 **香介** ピアノ・ボーカル

曲名：Bluebird

障がい：視覚

地域：東京都

出場者 PR ▶ 幼少期より音楽が大好きで、中でも特にユーミン(松任谷由美)を聴いて育つ。小学校の頃には、両親の影響でビートルズ、カーペンターズといった洋楽に興味を持ち、自ら好んで聴き始める。15歳の頃たまたまFMラジオのブルース特集で耳にしたRay Charlesに感銘を受ける。

自身と同じく、彼も緑内障で7歳の頃に失明していることを知り、それをきっかけに独学でピアノを始める。2006年ピアノ弾き語りで初ライブ。その後も定期的にライブを行い、セッションなどにも積極的に参加。現在シンガー・ソングライターとして都内のライブハウスを中心に活動中。最近では盲導犬の育成を目的としたチャリティー・ライブも積極的に開催している。

出場者名 **かしわもちかずと** ギター・ボーカル

曲名：そこにある未来

障がい：視覚

地域：兵庫県

出場者 PR ▶ 先天性の網膜の病気で生まれつき目が見えません。9歳から独学でギターを始めました。嘉門達夫さんが大好きでコピーしています。

一昨年第11回ゴールドコンサートでは嘉門達夫さんがぼくのために作詞作曲して下さった「旅するかしわもち」で出場させていただきました。

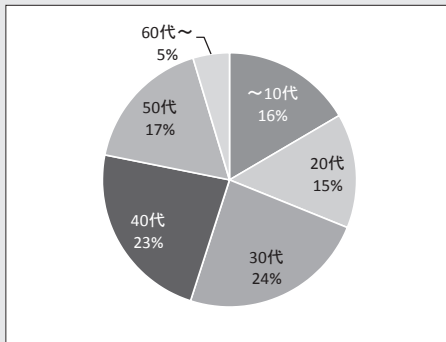
今年は、今の自分の気持ちを綴ったオリジナル曲を歌います。



応募状況

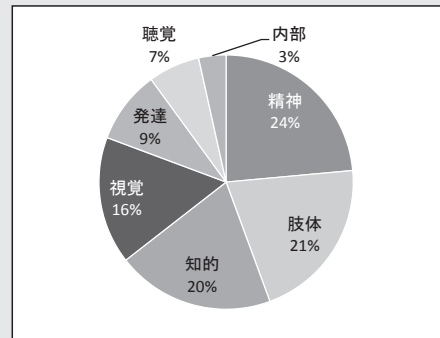
2015年12月1日～2016年5月6日までの期間に、福岡・沖縄・仙台・関西での地方大会、音源エントリー合わせて、歴代最多の154組の応募が寄せられました。ジャンルもポップス、クラシック、ロック、ジャズなど多岐にわたります。

1. 応募者の年齢 (n=154)



例年通り30代40代の応募が多いですが、今年は10代の応募が大幅に増えています。

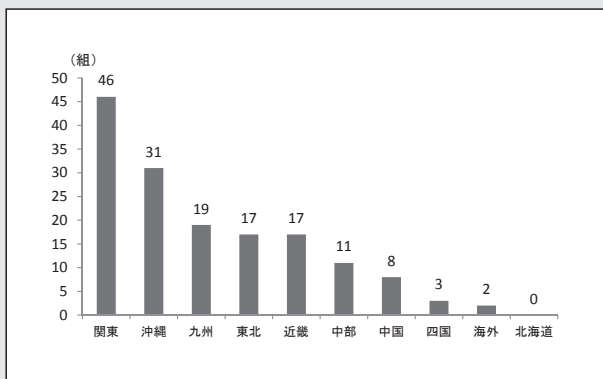
2. 障がいの種類 (n=154)



例年多く応募のある視覚障がいよりも、肢体不自由者、知的障がい者が増えました。

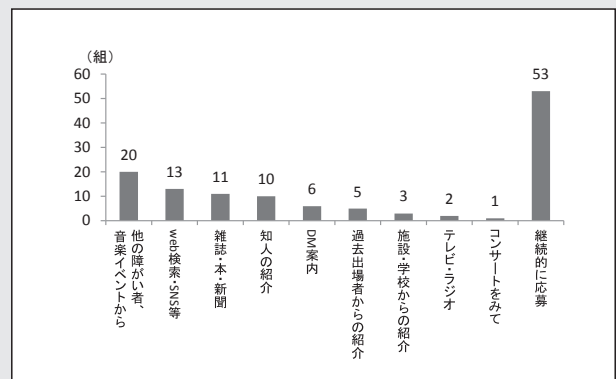
※重複障がいや、グループに複数の障がい者を含む場合は、それぞれの障がいをグラフ内にある凡例に分けて集計しています。

3. 応募者地域 (n=154)



例年通り関東（主に東京）からの応募がトップとなりましたが、地方大会を行った沖縄での応募が大幅に増え、その他地方大会開催地域（九州・東北）からの応募も増えました。

4. 応募のきっかけ (n=124)



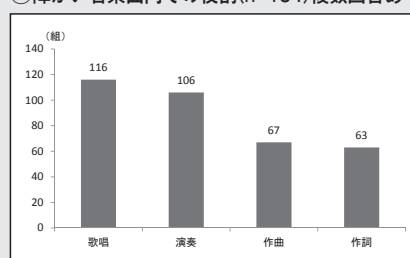
幅広く応募のきっかけが分布しています。また初応募者（101組）が継続的な応募者（53組）を大幅に上回る結果となりました。

※回答者分のみを集計

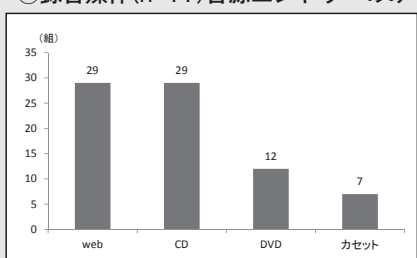
5. 応募曲について

オリジナル曲、カバー・コピーの割合は半々。オリジナル曲では約8割が、障がい者による作詞・作曲です。応募時の録音媒体はweb応募がCDでの応募と並び最も多くなりました。

①障がい者楽曲内での役割(n=154)複数回答あり



②録音媒体(n=77)音源エントリーのみ



特別ゲスト

特別ゲスト 二人目のジャイナ



profile プロフィール

FUNK・JAZZ から ACID まで、様々な要素を兼ね揃えた J-POP エンタテインメントバンド「二人目のジャイナ」は、結成直後からワンマンライブがソールドアウト、ツアーではその場で CD が即完売するなど、衝撃的に登場。そのライブパフォーマンスは鋭角的な音楽性にコミカルさを加えオーディエンスを圧倒させる。

全国規模で年間 100 本近くものライブをこなし、様々なタイアップ (TV 朝日音楽番組ランキング 2 位、新潟 CX 局キャンペーン曲や musicbird エンディング曲 etc.) を付けて全国で音楽活動を行ってきた Vocal の Masa により、「煮詰まった現在の音楽シーンに、今こそ本物のエンタテインメントを！」をメインテーマに、織田哲郎・大黒マキなど数多くのアーティストから信頼を受ける Percussion の Kou、ドラム講師として技術的信頼の深い Drums の Yoco、川添智久氏 (ex.LINDBERG)、タナベトシノ氏 (ex. カレイドスコープ) に師事し、「BASSMENT PARTY」に所属する Bass の Fukuo、和田アキ子・kj (Dragon Ash) & TAKUMA (10FEET) などとの共演で名を馳せた "スカポンタス" (ピクチャーエンタテインメント) の元フロントメンバー Trumpet の Yuta (クイック LEE ゆうた)、女性スカバンドのパイオニア "PEZSTOMP" の怪人アジテーター、Trombone の Shinnosuke (NOSKA)、俳優のキャリアを持つ Saxophone の Tomoya のメンバーで結成される。

その後、結成当初よりサポートメンバーで参加していた "Maracas White Special Band" の Keyboard の Narry が、そして、本場ニューオリンズのストリートで培った抜群のセッションワークで、西野カナ・Kinki Kids・BEGIN・the wild ones などのバックバンドやホーンアレンジで活躍している Trumpet の Charan、専門学校のギター講師の経験からオールジャンルの演奏スタイルに対応、酒井法子・松崎ナオ・ヒグチアイ・ピアノコネロを初めとして、ジャンルレスな活動を展開している Guitar の Ne-ze が加入し、そのバンドの勢いと個性とアンサンブルの化学反応は加速し続けている。

2013 年 11 月に表参道 GROUND (300 名)、2014 年 9 月に渋谷 CLUB QUATTRO (600 名)、2015 年 10 月に渋谷 WWW (400 名) でのワンマンライブを次々に大成功させ、それに伴って名古屋・大阪での動員が急激に増加、自主企画のイベント「ホカリスケナイト」などが好評をている。

今年 7 月に 4 枚目のアルバム「FLEXIBLEPOPS」をリリース、完成度の高いアンサンブルとパフォーマンスで周りを巻き込みながら、全国へ活動を広げている。

ゲスト・審査員・司会者紹介

ゲスト

DJ Yuta & Yuichi(第12回ゴールドコンサートグランプリ)



profile プロフィール

鳥取県出身のテクノ・ユニット。2014年の結成以降同県主催の各種文化事業で精力的に演奏を行う。コンピュータ等を作曲のツールとして使うだけではなくそれらを用いた即興演奏をその特徴的なスタイルとする。2015年10月東京国際フォーラムでのNPO法人日本バリアフリー協会主催『第12回ゴールドコンサート』に初参加しグランプリを獲得。今年3月に鳥取県の平井伸治知事の依頼で都道府県会館での『2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟設立記者会見』にて客演演奏を行い遠藤利明五輪担当大臣他に絶賛される。今後も音楽に限らずアートの各方面で幅広い活動を行っていきたいと考えている。



審査員

審査員長 湯川れい子 (音楽評論家・作詞家)
副審査員長 吉岡 正晴 (音楽評論家)
審査員 阿部 恒世 (WaWaWa 元編集長)
(50音順) 工藤 由美 (音楽ジャーナリスト)
小久保 隆 (環境音楽家)
仲川 一昭 (福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響」代表・指揮者)
萩原 岳 (ナレーター、メディア・エンタテインメント・販売コンサルタント)
花村ひろ子 (有限会社 エフ・エム・ジー 会長)
ほか

司会

村松加王里 (フリーアナウンサー)
クララ (ホスト)

第13回ゴールドコンサート 地方大会 開催報告

ゴールドコンサートの地方への拡大と、障がいを持つ音楽家の音楽活動の幅を広げるため、前々回より音源応募に加え関西で開催している地方大会がパワーアップし、今回は、福岡・沖縄・仙台・関西の4か所で地方大会を開催しました。各大会で熱戦が繰り広げられ、各大会で優勝した4組の第13回ゴールドコンサート(本戦)の出場が決定しました。

障がい者の音楽活動に関するアンケート調査や、終演後に開催した交流会などで、障がい者の音楽活動について知るいい機会となりました。

第13回ゴールドコンサート 地方大会 in 福岡

2016年2月20日(土) エルガーラホール 7F

応募者 19組 (内3組欠場)

■後援：福岡県、福岡市

■協力：藤田恭輔



優勝
YABKING

曲名：HUMAN
地域：福岡県
障がい：肢体
パート：ヒューマンビートボックス



準優勝
小川 弘晟

曲名：赤い糸
地域：大分県
障がい：肢体
パート：ボーカル



観客賞
川原 幸介

曲名：願い (Pray)
地域：福岡県
障がい：精神
パート：エレキギター



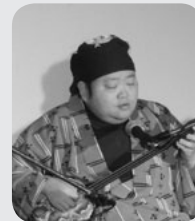
審査員特別賞
Sharmishthaa Atreja

曲名：Semi classical Hindustani Music
地域：インド
障がい：視覚
パート：ボーカル



審査員特別賞
Rajesh Kumar kori

曲名：Flute recital
地域：インド
障がい：視覚
パート：フルート



審査員特別賞
徳市 直之

曲名：親ぬ面影
地域：富山県
障がい：肢体
パート：三線・ボーカル

審査員：

田畑 尚美
(福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校 副校長)

亀山 みゆき
(株式会社シンフォニア代表 サウンドデザイナー)

西島 浩一郎
(ラブFM 編成部番組制作プロデューサー)

第13回ゴールドコンサート地方大会 in 福岡では、関連事業(インドの障がいを持つ音楽家の招へい事業)において Adobe Foundation Fund の助成を受けて実施しました。

大会終了後、出場者・介助者・ボランティア・審査員・運営スタッフが参加する交流会を実施し、お互いの文化や障がい者を取り巻く状況、音楽に関する意見交換など草の根の交流を行いました。

第13回ゴールドコンサート 地方大会 in 沖縄

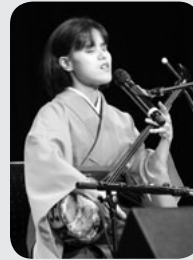
2016年2月27日(土) コザ・ミュージックタウン音市場
応募者27組(内3組欠場)

■後援：沖縄県、沖縄市
■協力：NPO法人サポートセンターケントミ



優勝、観客賞
ConstantGrowth

曲名：さくらはまだか
地域：沖縄県
障がい：肢体
パート：ボーカル ほか



準優勝 仲松 佳恋

曲名：干瀬節
地域：沖縄県
障がい：視覚
パート：三線



審査員特別賞
宮城 翔

曲名：エトピリカ & 情熱大陸
地域：沖縄県
障がい：視覚
パート：ピアノ

審査員：

我如古 盛健 (NPO 法人サポートセンターケントミ 理事長)
上与那原 寛和 (パラリンピック選手)
識名 安信 (ライオンズクラブ元地区ガバナー・名誉顧問)

第13回ゴールドコンサート 地方大会 in 仙台

2016年3月5日(土) LIVE-DOME STAR DUST
応募者21組(内2組欠場)

■後援：宮城県、仙台市
■協力：とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI



優勝
笙 YUU

曲名：風海る
地域：宮城県
障がい：知的・内部
パート：笙



準優勝 ひまわり

曲名：4ツ葉のクローバー
地域：新潟県
障がい：精神
パート：ボーカル、ギター



観客賞
サインまつもと

曲名：くもりのちはれ
地域：宮城県
障がい：聴覚
パート：ボーカル、手話



審査員特別賞
矢野 桜愛

曲名：遺作ノクターン 嬰ハ短調(シヨバン作曲)
地域：神奈川県
障がい：内部・発達・聴覚
パート：ピアノ



審査員特別賞
でこぼん

曲名：空を越えて
地域：宮城県
障がい：肢体
パート：ギター、ボーカル

審査員：

あんべ光俊 (とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI 相談役 フォーク・ロックアーティスト)
稲垣 達也 (とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI 初代委員長 / 相談役 ピアニスト・作曲家)
菊地 昭典 (とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI 企画プロデューサー 脚本家)

※地方大会 in 福岡・沖縄・仙台は平成27年度日本郵便の年賀寄附金の助成を受けて実施しました。

第13回ゴールドコンサート 地方大会 in 関西

2016年5月22日(日) A&H ホール

応募者 10組 (内 1組欠場)

■後援：大阪府、豊中市



優勝 かしわもちかずと

曲名：そこにある未来
地域：兵庫県
障がい：視覚
パート：ボーカル、ギター



準優勝 久保 博揮

曲名：「未来」
～その手の中に～
地域：愛知県
障がい：視覚
パート：ボーカル、ピアノ



観客賞 チョコレートパフェ

曲名：Parade (パレード)
地域：広島県
障がい：精神
パート：ボーカル、ギター



審査員特別 パフォーマンス賞 大阪チャチャチャ バンド

曲名：一緒にいることが
地域：大阪
障がい：知的、ほか
パート：ボーカル、リコーダー、
マラカスほか

審査員長：

仲川 一昭 (福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響」代表・指揮者)

審査員：

中川 一夫 (社会福祉法人わたぼうしの会 事務長)

山下 純一 (10周年記念ゴールドコンサートグランドチャンピオン、第6回ゴールドコンサートグランプリ)

酒井 靖 ※ご都合により欠席となりました。(一般財団法人たんぼの家 エグゼクティブ・ディレクター)

※地方大会 in 関西は、競輪の補助を受けて実施しました。

第13回ゴールドコンサート 地方大会 特別ゲスト・ゲスト紹介



地方大会 in 福岡
F.C.G.C. ～フクオカ・コミュニティ・ゴスペル・クワイア～



地方大会 in 沖縄
ピエロのファンキー



地方大会 in 関西
山下 純一

(10周年記念ゴールドコンサート
グランドチャンピオン、
第6回ゴールドコンサートグランプリ)



地方大会 in 仙台
高橋 直樹
(第12回ゴールドコンサート
歌唱・演奏賞、観客賞)



地方大会 in 関西
CALバンド (カリフォルニア大学バークレー校マーチングバンド=the University of California Marching Band)

日韓障がい者音楽コンテスト相互出場と交流事業報告 (日韓国交正常化 50 周年記念事業)

公益財団法人日韓文化交流基金の助成を受け、日本と韓国の障がい者の音楽コンサートへの相互出場と国際交流を行いました。

韓国からは、ベ・ヒガンバンド(視覚障がい)が当法人主催のコンサートに出場しました。翌日は出場者・介助者・運営スタッフを含め約40名が参加する交流会に参加しました。

日本からは、第7回ゴールドコンサートグランプリ穴澤雄介氏(視覚障がい)とゴールドコンサート事務局スタッフが韓国へ行き、ソウル特別市江南区の障がい者のための作業・レクリエーション施設である江南(カンナム)芸術文化福祉館の視察や、障がいを持つ音楽家によるミニコンサートを鑑賞しました。穴澤雄介氏は、江南区市民会館で開催された網膜色素変性症協会が主催するチャリティコンサート「KRPS Charity Concert」に出演しました。このコンサートは趣旨に賛同する約20組の韓国のアーティストが出演し多くのお客様が来場しました。

日本と韓国の音楽家がそれぞれの国で行われるコンサートに出場し、交流をすることで、音楽制作に関する情報交換や、音楽活動の状況、お互いの文化について話し合う、草の根活動を行うことができました。

2015年11月27日(金)

- ◆ 江南芸術文化福祉館の視察、ミニコンサート鑑賞、懇親会
- ◆ 韓国筋ジストロフィー協会の方々との面談



- ◆ ベ・ヒガンバンドライブ鑑賞



2015年11月28日(土)

- ◆ KRPS Charity Concertに穴澤雄介氏がピアニストの野田正純氏と出演



東京バリアフリーチェック ～福祉先進国デンマークの当事者視点報告

事業実施内容

スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団の助成を受け、デンマークのエグモント・ホイスコーレ校（重度障がい者と健常者がともに学ぶ寄宿制の成人学校）の学生・教員に協力してもらい、当協会の障がい当事者・職員が2016年4月5日（火）及び6日（水）に、東京の主に観光地におけるバリアフリーの現状について、6つのグループに分け、実地調査、報告を行いました。



実地調査

■参加者

デンマーク側：45名（うち車いす10名）

日本側：9名（うち車いす3名）

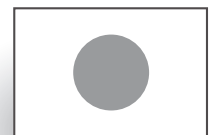


■実地調査スケジュール例

ひばりヶ丘→豊洲→台場→昼食→浅草→赤坂見附→報告会

■その他主な行先

渋谷、原宿、表参道、池袋、新橋、半蔵門、上野



報告会

実地調査後、NPO 法人日本バリアフリー協会会議室にて報告会を行いました。

■参加者

デンマーク側：10名

日本側：10名



第13回ゴールドコンサート協力者の皆様

50音順(後援を除く)(以下、敬称略)

補助事業

公益財団法人 JKA

後援

厚生労働省
文部科学省
東京都
千代田区
社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
全国自立生活センター協議会
全国特別支援教育推進連盟
社会福祉法人鉄道身障者福祉協会
一般社団法人日本筋ジストロフィー協会
公益社団法人日本フィランソロピー協会

協賛 (50音順)

株式会社イングランドイーレ
公益財団法人オックス宮内財団
関西学院大学
キッコーマン株式会社
株式会社 KDDI チャレンジド
一般社団法人元氣人倶楽部
国際ソロプチミスト川崎
コニカミノルタジャパン株式会社
株式会社コヤマドライブングスクール
J-Workout 株式会社
大同生命社会貢献の会
株式会社テイクプロシード
株式会社デービスアクト
日本コムシス株式会社
日本信号株式会社
ノーベルファーマ株式会社
バイオニア株式会社
株式会社フォーシーズ
有限会社フジオート FUJICON
Meiji Seika ファルマ株式会社
医療法人和楽会

協力 (50音順)

社会福祉法人あかねの会
株式会社エイチ・アイ・エス ユニバーサルツーリズムデスク
FMC ワッホー編集部
キュービーグループマッチングギフト「QPeace」
株式会社京進
株式会社クオライフドットコム
駒場ビストロエガリテ
株式会社Jストリーム
一般社団法人障がい者自立推進機構パラリンアート運営事務局
新老人の会 SSA
スポーツニッポン新聞社
デンマーク筋ジストロフィー協会
とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI
公益財団法人日本ケアフィット共育機構
NPO 法人日本バリアフリー政策研究所
バンローリング株式会社
株式会社フジテレビジョン
株式会社メディカルフォーラム
めびうすの WA

NPO 活動報告 (2015年10月～2016年5月)

※「GC」は「ゴールドコンサート」をその後の数字は回数を表します。

2015	10月16日(金)	日本筋ジストロフィー協会 ピアカウンセリングセミナーにて代表が講演 @ テトリアくまもと内熊本県民交流館
	11月2・3日(月・火)	NPO 法人ハイテンション 仙台セッション 2015 に代表が参加 @ 仙台市民活動サポートセンター 市民活動シアター ・とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI 菊池昭典 様、NPO 法人ハイテンション かしわ哲 様とのトークセッションにて代表が参加 (浅野史郎 元宮城県知事が司会) ・GC9 グランプリ 佐藤ひらり 様が生演奏
	11月27日(金)～29日(日)	代表、法人スタッフ、GC7 グランプリ 穴澤雄介 様が韓国を訪問 ・江南芸術文化福祉館の視察、ミニコンサート鑑賞、懇親会 ・韓国筋ジストロフィー協会の方々と面談 ・ベ・ヒガンバンドライブ鑑賞 ・KRPS Charity Concert @ 江南区市民会館に GC7 グランプリ穴澤雄介 様が出演
	12月8日(火)	岐阜県立羽島北高等学校にて代表が講演
	12月17日(木)	日韓国交正常化 50 周年記念公演にて代表が出演 @ 紀尾井ホール
2016	1月13日(水)	東京藝術大学、日本財団による共同研究「国内における障がい者による芸術活動の概要」にて代表がインタビューを受ける
	1月21日(木)	GC13 総合企画会議 GC 実行委員他: 17 名参加
	1月28日(木)	福島大学にて代表が講演
	2月20日(土)	GC13 地方大会 in 福岡 開催 @ エルガーラホール
	2月27日(土)	GC13 地方大会 in 沖縄 開催 @ コザ・ミュージックタウン音市場
	3月5日(日)	GC13 地方大会 in 仙台 開催 @ LIVE-DOME STAR DUST
	3月30日(水)	「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟」設立記者会見にて代表が出席 @ 都道府県会館 ・GC12 グランプリ DJ Yuta & Yuich 様が生演奏
	4月5・6日(火・水)	スカンジナビア・ニッポンササカワ財団助成事業 東京バリアフリーチェック～福祉先進国デンマークの当事者視点～ 実施
	5月22日(日)	GC13 地方大会 in 関西 開催 @ A&H ホール

マスメディアによる ゴールドコンサートの 出場者募集告知放送、掲載

各項 50 音順

テレビ・ラジオ

- ◆NHK ラジオ第一 (九州・沖縄エリア)

新聞

- ◆スポーツニッポン
- ◆沖縄タイムス

雑誌・機関紙など

- ◆公募ガイド VOL.356
- ◆リハビリテーション

インターネット

- ◆沖縄タイムスプラス
- ◆スポニチアネックス
- ◆大同生命公式 facebook

第12回ゴールドコンサート協力者の皆様

50音順(後援を除く)(以下、敬称略)

補助事業

公益財団法人 JKA
後援
厚生労働省
文部科学省
東京都
千代田区
社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
全国自立生活センター協議会
全国特別支援教育推進連盟
社会福祉法人鉄道身障者福祉協会
一般社団法人日本筋ジストロフィー協会
公益社団法人日本フィランソロビー協会

協賛(50音順)

アドビ システムズ 株式会社
株式会社イングランディーレ
株式会社大塚商会
公益財団法人オリックス宮内財団
関西学院大学
キックマン株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
株式会社 KDDI チャレンジド
一般社団法人元氣人倶楽部
国際ソロプチミスト川崎
株式会社コヤマドライビングスクール
J-Workout 株式会社
大同生命社会貢献の会
日本コムシス株式会社
日本信号株式会社
株式会社日本テレソフト
ノーベルファーマ株式会社
バイオニア株式会社
ビー・ミュージック
ファイザー株式会社
株式会社フォーシーズ
有限会社フジオート FUJICON
株式会社フジテレビジョン
Meiji Seika ファルマ株式会社
明治安田生命保険相互会社
株式会社 モンベル
りゅうえい治療院
医療法人和楽会
匿名希望 2社

協力<企業・団体>

社会福祉法人あかねの会
株式会社エイチ・アイ・エス バリアフリートラベル専門デスク
FMC ワッホー編集部
関西学院大学同窓会東京支部
Give2Asia
キュービーグループマッチングギフト「QPeace」
株式会社京進
車いすアドバイザーいっぽ
株式会社クオライフドットコム
NPO 法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク (TA-net)
株式会社Jストリーム
シャープ株式会社
スタンダードチャータード銀行
スポーツニッポン新聞社
デンマーク筋ジストロフィー協会
とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI
公益財団法人日本ケアフィット共育機構
NPO 法人日本バリアフリー政策研究所
三菱UFJ信託銀行
パンローリング株式会社
株式会社メディカルフォーラム
六本木 Blues Dog Cafe

協賛<個人>

浦田 泉	木村 円	中田 恵子	船戸 弘正	吉田 栄治
大木 聖薫	久保木 富房	庭山 敏幸	松澤 美津子	
奥林 群司	佐々木 司	福澤 利夫	村上 みな子	他 匿名希望 7名
加藤 進昌	尊田 京子	福島 浩太	吉井 勇	
公ちゃん.	出口 貴美子	福島 敏子	吉崎 英雄	



平成27年度 競輪補助事業完了のお知らせ



この度平成二十七年年度の競輪の補助金を受けて、下記の事業を完了いたしました。

記

- 一、事業名
平成二十七年年度 障がいのある人が幸せに暮らせる社会を作る活動 補助事業
- 一、事業の内容
第12回ゴールドコンサート
- 一、補助金額
6,704,439円
- 一、実施場所
東京国際フォーラムホールC
- 一、完了年月日
平成二十八年一月二十五日

(特非) 日本バリアフリー協会
代表理事 貝谷 嘉洋



©川津貴信

ボランティアスタッフ募集のお知らせ

障がいをもつミュージシャンの音楽イベント「第13回ゴールドコンサート」の運営を有志でお手伝いしていただける方を探しています。(昨年、学生さんから社会人の方まで約200名の方にご参加いただきました)

日時
2016年10月10日(月・祝) 9時頃から21時頃
終日お手伝いいただける方
ただし仕事内容によっては時間が早まったり、お昼からの参加と
なったりする場合があります
事前準備の段階からご参加いただける方も併せて募集します。

会場
東京国際フォーラム ホールC【最大座席数 1,502席】
(東京都千代田区丸の内3-5-1)
JR線 有楽町駅より徒歩1分、東京駅より徒歩5分

仕事の内容
障がいをもつ出場者や舞台裏の手伝い、来場者の受付・案内、機材の搬入搬出、会場警備、その他
当日までの準備 [ご参加いただける方]
※コンサートを観覧いただきレポートを提出していただく事もあります。
※事前説明会を予定(9月下旬から10月初旬)
※経験は問いません。障がい者の方も歓迎。
※手話、英語、韓国語の出来る方歓迎

コンサート当日の諸条件
ボランティア保険：万一の事故に備え、主催者側で一括加入。
軽食・飲み物支給あり、交通費の支給なし

お問い合わせ先

NPO 法人日本バリアフリー協会 ゴールドコンサート事務局
〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16-801
電話 03-5215-1485 FAX 03-5215-1735
E-mail: volunteer@npjba.org URL: http://www.npojba.org

申込み

ご希望の方は下記申込書にもれなくご記入の上、事務局までFAX又はメールでご送付下さい。

募集締切：2016年8月21日(日)

(※応募者多数の場合、締切前に募集を終了する場合があります。)

第13回ゴールドコンサートボランティア申込書

送付先 Fax: 03-5215-1735 または Email: volunteer@npjba.org

(フリガナ) ※氏名		性別	男・女
	当協会ホームページ上・会報等で名前の掲載は可能ですか？ 当協会からお知らせ(ご案内・活動報告等)をメールにてお送りしてもよろしいですか？		年齢
		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	

※連絡先

〒

連絡には主として「Eメール(パソコン)」を使用しますが、支障のない限り下記連絡先は全てご記入下さい。

Eメール(パソコン)

携帯電話

Eメール(携帯)

FAX

情報量の多いご案内もあるため、出来る限りEメール(パソコン)のご利用をお願いします。ご連絡をいただいてから1週間以上たっても登録完了のお知らせがない場合には事務局までご連絡ください。

勤務先・学校名

※参加内容について： 1. 事前の準備(2016年7月～コンサート当日まで間の都合のつく時)からの参加を希望
2. 2016年コンサート当日 終日(9:00頃～21:00頃)のみ参加を希望 ※お仕事内容によっては7:30集合となります。

☆質問1から3にお答え下さい

1. ボランティア経験はありますか？ はい いいえ
2. 過去にゴールドコンサートを手伝ったことがありますか？ はい いいえ
※あると答えた方は第何回のゴールドコンサートですか？ _____ 回目
3. その他経験内容(手話・英語・韓国語・介護経験等)

◎ その他特に伝えておきたい点など

第13回 ゴールドコンサート

日時 平成28年 **10月10日** (月・祝)

15:30 開場 / 16:30 開演

会場 東京国際フォーラム ホールC

座席	SS席	4,000円
(全席指定)	S席	3,500円
	A席(高校生以下無料)	2,000円
	車いす席	2,000円

※ 無料席・車いす席をご希望の方、補助犬をお連れの方は事務局に要事前申込。

※ 必要な方介添者1名無料

※ 手話通訳・パソコン文字通訳あり。

※ ご希望の席をご用意できない場合があります。

高校生以下無料招待

高校生以下の児童・生徒の皆様へ無料招待席(A席指定)を用意しています。子供たちに障がい者の活躍する姿を見てもらい、理解を深めてもらえれば幸いです。なお、事務局に事前申し込みが必要です。

合理的配慮・情報保障について

当日は車いす席、磁気誘導ループ、手話通訳、パソコン文字通訳、音声読み上げ対応テキストも用意しており、障がいを持つ皆様楽しんでいただけるよう準備しております。

インターネット生放送

会場に来られない方のためにインターネット生放送を行います。当日のゴールドコンサートの模様を全世界に向けて配信いたします。下記アドレスにアクセスしてご覧ください。

URL: <https://gc.npojba.org/live>

日時:平成28年10月10日(月・祝) 16:30よりスタート

発行所 〒157-0072東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドウラ祖師谷102号
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価 50円
編集人 〒102-0093東京都千代田区平河町1-7-16 801号
特定非営利活動法人日本バリアフリー協会
代表理事 貝谷嘉洋

印刷協力:協友印刷株式会社

チケット発売中



チケット申込み

0570-02-9999

《Pコード 301-007》



2016年10月10日(月・祝) 15:30開場 / 16:30開演 東京国際フォーラム ホールC (バリアフリー対応会場)

チケット申込み: チケットぴあ(0570-02-9999 / Pコード 301-007)

全席指定 SS席 4,000円 / S席 3,500円 / A席 2,000円 (高校生以下無料) / 車いす席 2,000円

※特別席・車いす席・補助犬誘導ループご希望の方、補助犬をお連れの方は事務局に要事前申込。※必要方介添者1名無料。※手話通訳・パソコン文字通訳あり。

主催: NPO 法人日本バリアフリー協会

■主催のお願い: 障がい者団体・ボランティア・自治体関係・企業関係・福祉関係・マスコミ関係・NPO法人関係・一般市民関係・その他関係者へのご協力を歓迎いたします。障がい者団体・ボランティア・自治体関係・企業関係・福祉関係・マスコミ関係・NPO法人関係・一般市民関係・その他関係者へのご協力を歓迎いたします。

■協賛: 協賛企業・団体・個人(企業名・団体名・個人名を記載) 協賛企業・団体・個人(企業名・団体名・個人名を記載) 協賛企業・団体・個人(企業名・団体名・個人名を記載)

■協賛のお願い: 障がい者団体・ボランティア・自治体関係・企業関係・福祉関係・マスコミ関係・NPO法人関係・一般市民関係・その他関係者へのご協力を歓迎いたします。

■お問い合わせ: NPO 法人日本バリアフリー協会 TEL: 03-5215-1485 / FAX: 03-5215-1735

Mail: info@npojba.org / URL: <http://gc.npojba.org> ■バリアフリー 一般社団法人バリアフリー協会

日本バリアフリー協会

ポスター制作: 一般社団法人チャレンジド・クリエイティブラボ

点字チラシもありますので、ご要望の方は下記までご連絡ください。

お問合せ

NPO 法人日本バリアフリー協会 ゴールドコンサート事務局

〒102-0093

東京都千代田区平河町1-7-16-801号

TEL:03-5215-1485

FAX:03-5215-1735

E-mail:info@npojba.org

URL:<http://www.npojba.org>

